

梅木 辰也 准教授、冨永 昌人 教授、大渡 啓介 教授が インドネシア・スラバヤエ科大学主催の Guest Lecture Series on SDGs でオンライン講演

【概要】

理工学部化学部門の梅木 辰也 准教授、冨永 昌人 教授、大渡 啓介 教授が、それぞれ 2021 年 1 月 12 日 (火)、19 日 (火)、26 日 (火)に、インドネシアのスラバヤ工科大学 (Institut Teknologi Sepuluh Nopember) 主催のオンライン講演会 Guest Lecture Series において、SDGs に関する講演を行いました。

【本文】

2021 年 1 月 12 日 (火)、19 日 (火)、26 日 (火) に、理工学部化学部門の梅木 辰也 准教授、冨永 昌人 教授、大渡 啓介 教授の3名がスラバヤエ科大学 (Institut Teknologi Sepuluh Nopember) 主催のオンライン講演会 Guest Lecture Series (GLS) on Sustainable Development Goals において下記の題目で講演を行いました。

梅木 辰也 准教授

"Introduction to carbon dioxide capture and utilization in Japan"

冨永 昌人 教授

"Electrochemical energy conversion system utilizing bio-related catalysis"

大渡 啓介 教授

"Preparation of separating reagents for metal recovery and removal"

本 GLS は、スラバヤ工科大学国際課を中心に運営されている 5 つの e-Program から構成され、世界各国の顕著な研究実績を有する教員によって講演がなされます。さらに本プログラムは参加費無料で、スラバヤ工科大学から受講認定がなされるため、開催大学の学生はもとより全世界から参加者が集います。今回の各講演においても、125 名超の参加がありました。講演に続く質疑応答においても、講演者と受講者との間で一方通行ではない双方向の十分な議論が 30 分を越えてなされました。

スラバヤ工科大学と理工学部は大学間協定を締結しており、恒常的な交流が継続されていますが、2020年度はコロナ禍のために対面での交流が全く出来ませんでした。今回の3名の教員によるGLSへの貢献は、今後のwith/afterコロナでの交流において重要なものとなります。



GLS のホームページに掲載されたポスター

(https://www.its.ac.id/international/e-program/gls/)